

【職員の新型コロナウイルス感染について】

当院の看護師 2 名が新型コロナウイルスに感染したことが確認されました。

経過

当院は、感染症指定病院ではありませんが、4 月中旬に緊急入院した発熱のない患者さんが入院翌日に新型コロナウイルスに感染していることがわかりました。判明後は適切な個人防護具を使用し、日本環境感染学会の定義に基づいた濃厚接触者 14 名（医師、看護師、放射線技師、臨床検査技師）を 2 週間の自宅待機にするなどの対策を講じていました。しかし、学会の定義で濃厚接触者に該当していなかった同病棟の看護師 2 名が、新型コロナウイルスに感染したことが確認されました。発生状況は以下のとおりです。

職員	最終勤務日	症状出現日	検査日	検査確定日
看護師 A	4 月 16 日	4 月 16 日	4 月 17 日	4 月 18 日
看護師 B	4 月 15 日	4 月 15 日	4 月 20 日	4 月 21 日

対策

直ちに所轄保健所に経緯を報告し、当該職員と接触した患者さんへは、個別に連絡、健康状態の確認を実施しています。また、当該職員と濃厚接触者に該当する 15 名の職員（医師、看護師、看護補助者、薬剤師、事務職）については自宅待機としています。当院では感染防御策を適切に行っていますが、医療従事中の感染を否定できるものではありません。また、感染していた職員が所属する病棟の新規入院受入は停止しております。現在までに、当該職員から感染したことが疑われる患者さんは確認されておられません。

今後も職員一同が感染拡大防止に努めながら、診療を継続してまいります。皆様には何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

令和 2 年 4 月 22 日

聖隷佐倉市民病院 院長 佐藤 慎一